

# 変形性膝関節症 関節リウマチ スポーツ障害



## 膝関節専門外来

膝関節は、歩く、座るなどの日常動作に大切な関節です。加齢による変形、外傷などにより、軟骨、靭帯、半月板等が損傷されますが、これをできる限り痛みを取り、日常生活に復帰できるように治療します。

診療日：月曜日（9:00～12:00 予約制）

担当医：青盛 克裕 医師

日本整形外科学会専門医、認定スポーツ医、リウマチ医  
日本リウマチ学会専門医  
日本リハビリテーション学会認定医

### 変形性膝関節症の治療

変形性膝関節症は、年齢とともに、膝関節の関節軟骨がすり減って、膝の痛みと変形が来る病気です。女性に多く、65歳以上の方の約20%にあるといわれ、原因は関節軟骨の老化と考えられます。

最初の症状は立ち上がりの時の痛み、階段での痛み、正座ができないということが多いです。その後、関節の動きが悪くなったり、時に関節に「水」がたまったりして徐々に進行します。通常、膝の関節の内側の軟骨が痛むことが多く、すり減ってきますので膝がO脚変形をして、歩行障害を来します。

治療には保存療法（手術をしない治療法）と手術療法があります。比較的初期の変形の軽いときは保存療法で痛みをコントロールできますが、進行すると手術を受けた方がよい場合が多くなります。

保存療法には、運動療法、装具療法、薬物療法などがあり、また手術療法には次のようなものがあります。

### ①関節鏡視下手術

軽度から中程度の症例に適応があります。内視鏡で観察しながら半月板変性断裂部を切除したり、滑膜を切除したりします。

### ②骨切り手術

骨切りを行い、O脚の膝を矯正し、痛んだ膝内側の負担を減らす手術です。

### ③人工膝関節置換術

傷んだ軟骨、骨を人工膝関節の形に合わせて薄く削り、金属、ポリエチレンでできた人工関節を自分の骨の上にしっかりと固定する手術です。30年以上の歴史があり、日本でも年間80000件以上の手術が行われています。手術治療の中で最も痛みをとる効果が高く、また変形の矯正が行え、安定した手術です。内側だけ人工関節に置換する単顆型（片側型）人工膝関節置換術も行っています。



単顆型(片側型)  
人工膝関節術前



術 後



人工膝関節術前



術 後

その他、関節リウマチの薬物療法や手術療法、半月板損傷などのスポーツ障害の治療も行なっておりますので、膝の痛みや変形でお困りの患者さんは、一度外来を受診していただき、ご相談下さい。